

2020/10/11-2

(うと Q 世話し いいエコサイクル提案(誤解を恐れずに))

「することがない。一日がとても長い」

退職されてかなりの年月が経たれた方からよく耳にする言葉です。

「勤め人時代は仕事が忙しくて、趣味を見つける暇がなかった」

「特段、これといって好きなこともないし、したいこともそれほどない」

「この歳じゃ雇ってくれるところもないし」

と、理由は様々なようです。

しかし、これらを聞いていると幾つか疑問が湧いてきます。

ご意見の逆から申上げて参りますと

「お金を戴けなくても仕事というのがあります。大抵の奥さん方は無給ですが、家事は立派な仕事ではないですか？年金を戴いているのなら手弁当の仕事だってあるのではないですか？」

「好きなこと、したいことがないって本当でしょうか？お金があれば、ワンサカ出てくるのではないですか？」

そして

「仕事が忙しくて趣味を見つけられなかったのではなくて、仕事ではお金が入るけれど、趣味ではともすると多額のお金が出ていく事を無意識に避けたのではありませんか？」

要するに

「一銭の得にもならない事はずっと避けてきただけ」ではないですか？

勿論全部それが原因だとは申しませんが。

そこで、今日も又誤解を恐れずに申し上げますと

「だったら、余生、今度は現役時代とは逆に「思いつき損をする」事を考えてみてはいかがですか？」

残すのではなく使い切ることを。

何もヤケツパチで豪遊しろとなんか申しません。

細々とでも、手弁当で奉仕活動や社会活動に参画されては？とかのレベルの「思いつき損」をすることです。

これなら若い人の職を奪わなくて済みますし、若い人が職を得る機会が多ければ、現在の「皆さんの年金額実質立て替え者」からの年金額も維持されますし。

いいエコサイクルができるような気がするのですが、どうでしょうかね？